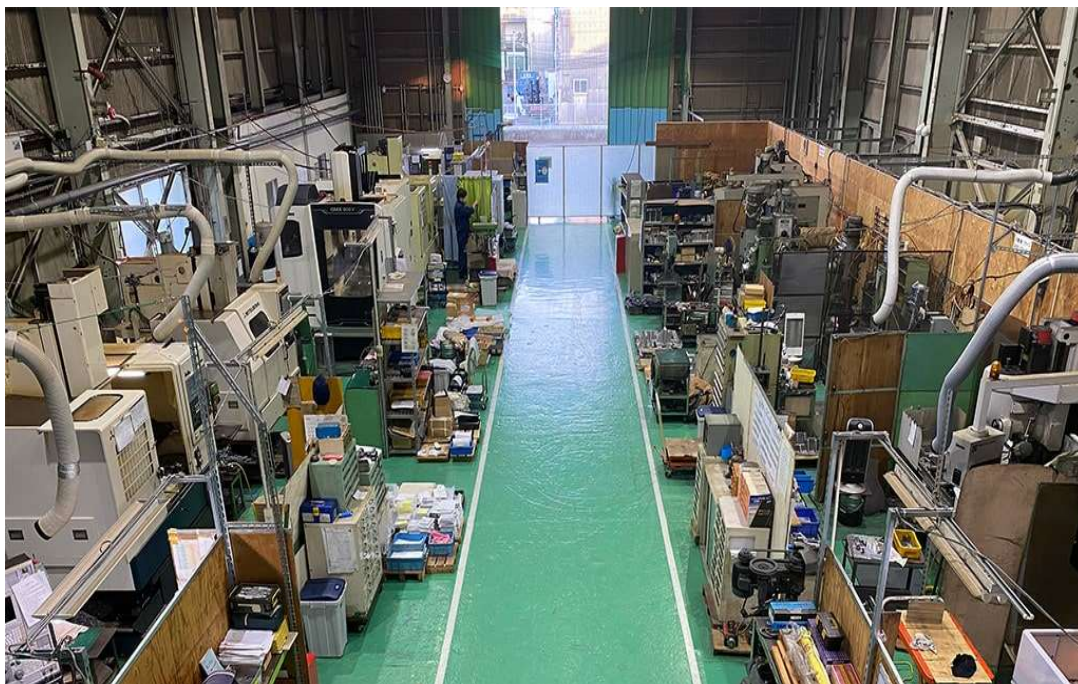


環境経営レポート



エコアクション21®

認証番号0013983



有限会社 弥生製作所

第 2号

発行日：2024年7月1日

(運用期間：2023年3月1日～2024年2月28日)

目 次

I.	組織の概要		P 1
II.	環境経営方針		P 2
III.	環境経営目標		P 3
IV.	環境経営計画		P 4
V.	実施体制		P 5
VI.	当社の取り組み		P 6~P 8
VII.	環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標		P 9
VIII.	環境経営計画の取組結果とその評価, 及び次年度の環境経営計画		P 10
IX.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟などの有無		P 11
X.	代表者による全体の評価と見直し・指示		P 12

I 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

有限会社 弥生製作所
代表取締役 片野 浩一

2. 所在地

名 称	所 在 地	延床面積	備 考
本社	静岡県沼津市大諏訪856の2	754.94㎡	

3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 片野 絢太
事務担当者 片野 まづる

TEL 055-920-7077
E-mail yu-yayoi@gk9.so-net.ne.jp

4. 事業の概要

産業用・省力化機械部品製造業

5. 事業規模

2024年3月1日現在

項 目	内 容
売上高	1億5,000 万円(2023年3月～2024年2月)
従業員数	16名

6. 事業年度 毎年 3月1日～翌年2月末日

7. レポートの運用期間及び発行日

運用期間 表紙に記載
発行日 表紙に記載

8. 対象範囲

活動;全活動
組織;全部門

環境経営方針

[環境理念]

当社は有限会社 弥生製作所の経営理念に基づき、産業機械・省力化機械等の部品製造という業務を通じて、地球温暖化問題への取り組みや、地域の環境活動に自主的、積極的に取り組みます。お客様からの要望に応じ、安定した技能と協力会社との連携をもって、ムダなく(段取り時間、次工程への引継ぎ、材料注文の適正、在庫管理などをシステム化し)より早く、正確な製品づくりと、検査による信頼、的確な価格へとつなげ、従業員への職場(作業)環境の改善の積み重ねが一番の環境対策であると考え、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでいきます。社会貢献を通じて、会社の発展と継続にもつながると考えています。

[基本方針]

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な改善をめざします。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量等の削減に努めます
 - 1) 電気、ガソリン、ガス等の使用量削減に努めます
 - 2) 分別を確実に進め、廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
2. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制を遵守します
3. 環境に配慮した製造活動
環境に配慮した部品加工を推進します。
5S活動を基軸に生産性向上に努める。
切削油の耐久性の延長をはかり、油の検討、使用などを進め順次変えてゆきます。
4. 環境経営の継続的改善
顧客との環境コミュニケーション推進するなど顧客満足度の向上等を図り、環境経営の継続的改善を実施します。
5. 環境コミュニケーションの実施
社外は、環境経営レポートを公開し、社会とのより良い関係を図っていきます。
社内は、全従業員に環境経営方針を周知し、全社員参画による取組を目指します。

制定年月日 2022年11月1日(初版)

有限会社 弥生製作所
代表取締役 片野 浩一

Ⅲ 環境経営目標

1. 運用期間(2023年3月～2024年2月)の環境目標

項目		単位	基準期間	運用期間			
			2022年3月 ～ 2023年2月	2023年3月 ～ 2024年2月			
			基準値	目標削減率	目標値	CO2換算	割合
二酸化炭素排出量		kg-CO2	47,905	-1%	47,424	47,424	100%
内訳	電力	kWh	78,629	-1%	77,843	35,185	74.2%
	ガソリン	L	5,273	-1%	5,220	12,111	25.5%
	都市ガス	m3	60	-1%	59	128	0.3%
廃棄物排出量	産業廃棄物	kg	13,825	-1%	13,687		
	一般廃棄物	kg	600		594		
水使用量		m³	162	-1%	160		
化学物質使用量		—	988	適切な管理			
環境に配慮した製品づくり		件	3		3		

<備考>

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、エネオス電気の排出係数である0.452(kg-CO₂/kWh)を使用した。
2. 都市ガスは割合が少ないので、削減計画には入れない。

2. 中長期の環境目標

項目		単位	基準年度	目標年度				
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
			2022年3月 ～ 2023年2月	2023年3月 ～ 2024年2月	2024年3月 ～ 2025年2月	2025年3月 ～ 2026年2月	2026年3月 ～ 2027年2月	
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	47,905	-1%	-2%	-3%	-4%	
内訳	電力	kWh	78,629	-1%	-2%	-3%	-4%	
	ガソリン	L	5,273	-1%	-2%	-3%	-4%	
	都市ガス	m ³	60	-	-	-	-	
廃棄物排出量	産業廃棄物	kg	13,825	-1%	-2%	-3%	-4%	
	一般廃棄物	kg	600	-1%	-2%	-3%	-4%	
水使用量		m ³	162	-1%	-2%	-3%	-4%	
化学物質使用量		—	988	適切な管理・使用				
環境に配慮した製品づくり		件	3	3	3	3	3	

<備考>

「化学物質使用量」の削減目標は使用量が非常に少なく、顧客の指定があり代替化が困難なため維持管理とする。

Ⅳ 環境経営計画

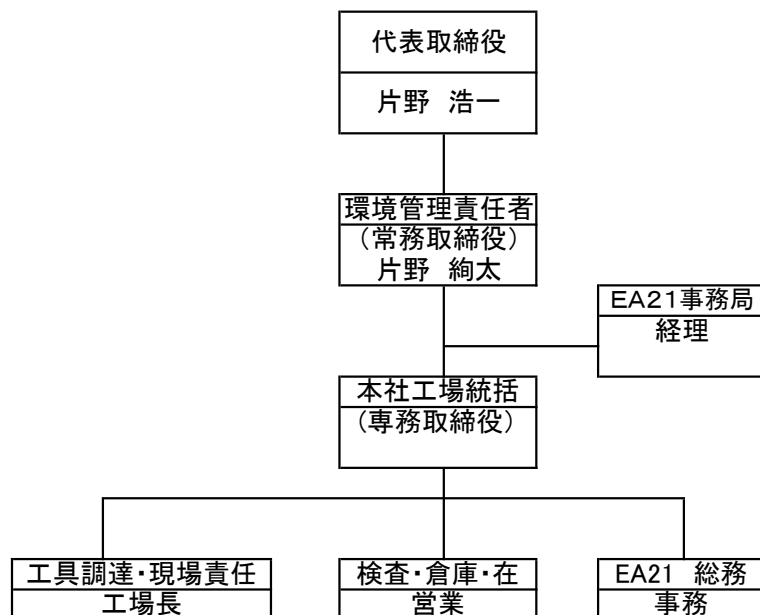
(運用期間: 2023年3月～2024年2月)

環境活動項目			責任者	スケジュール	
				8月	2月
運転管理 等 空調等 工場・事務所	低冷房運転の励行	常務			
	不必要なアイドリングの禁止				
	急発進・急加速の禁止				
	エアコンの設定温度を夏季28℃、冬季20℃に設定	事務			
	クールビズ、ウォームビズの実施				
	空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回/年)				12月下旬実施
	デマンドコントロールの検討	工場長			
	コンプレッサーのエア漏れチェック				
	未使用設備の電源OFF(製造設備・OA機器・他)				
廃棄物の削減	コピー用紙の両面使用	事務			
	封筒などの再利用				
	廃油(作動油)の削減	工場長			
	作業油の再利用(潤滑面等へ使用)				
水使用量の削減	水もれ点検の実施	経理			
	張り紙・ポスター等の掲示				
環境に配慮した生産活動	不良品の削減(不良率3%以下)	工場長			
	5S活動の実施				
	製造工程の見直し				
	段取り時間の短縮検討				
環境コミュニケーションの実施	顧客・近所とのコミュニケーションの推進	常務			
	社員の交流				
環境経営の継続的改善	顧客との環境コミュニケーション推進	常務			

V 実施体制

作成日 2023年3月1日

作成者 片野 絢太



<関係者の権限と役割>

社長 片野 浩一

- ① 環境経営全般に関する責任と権限
- ② 環境管理責任者の任命
- ③ 環境経営に必要な資源の準備
- ④ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑤ 環境経営方針の制定及び改定
- ⑥ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ⑦ 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知
- ⑧ EA21の環境経営システムの運用のために必要となる経営資源(人・もの・資金・情報など)を用意する

環境管理責任者 常務取締役 片野 絢太

- ① 環境経営システム全般の運用・管理
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 取組状況の社長への報告
- ④ 環境経営レポートの作成

EA21事務局 経理

- ① 環境負荷データ等の集計
- ② 環境経営目標・環境経営計画の進行管理
- ③ 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤ 環境関連法規等の遵守状況チェック
- ⑥ 環境上の緊急事態の想定と対応策の作成。全体での試行、訓練の実施
- ⑦ 文書・記録の管理

各部門長 統括 専務取締役

- ① 部門の環境経営計画の実施
- ② 部門データの集計
- ③ 部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④ 部門取組状況の事務局への報告
- ⑤ 部門の従業員教育

その他の従業員

- ① 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

VI 当社の取組み

◆社内注意書きで社員の意識づけ◆



◆社内全体清掃の様子◆



◆エアコン定期清掃の様子◆

◆ペンキ塗り替え 通路確保◆

◆社内掲示板作成による社員の意識向上◆



◆経営資源の投入◆



工場内電気設備オールLED化



フォークリフトの省エネ車に切り替え

VI 地域との融合活動



駿河クラブ

弊社では地域貢献の一環として、静岡県沼津市を中心に活動している男子ソフトボールクラブチーム“駿河クラブ”のスポンサーを務めております。

I部リーグで活躍し、全国大会で勝てるチームを目指して、日々励んでいるチームです。

また、県ソフトボール協会の技術委員を務め、幼稚園、小学生向けのソフトボール教室を開催するなど、幅広い活動をしております。

VII 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間(2023年3月～2024年2月)の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間						
			2022年3月 ～ 2023年2月	2023年3月 ～ 2024年2月						
				基準値	目標削減率	目標値	実績値	実績削減率	評価	CO2換算 Kg-co2
二酸化炭素排出量		kg-CO2	47,905	-1%	47,426	46,773	-1.4%	○	46,773	
内訳	電力	kWh	78,629	-1%	77,843	74,499	-4.3%	○	33,674	
	ガソリン	L	5,273	-1%	5,220	5,602	7.3%	×	12,997	
	都市ガス	m3	60	-1%	59	47.30	-20.4%	-	102	
廃棄物排出量		産業廃棄物	kg	13,825	-1%	13,687	13,935	1.8%	×	
		一般廃棄物	kg	600		現状維持	600		-	
水使用量		m³	162	-1%	160	158	-1.5%	○		
化学物質使用量		kg	988		現状維持	52.8		-		
環境に配慮した製品づくり		件	3		3	3		○		

<評価>

電力	原因	休憩時間等、使用していない機械やヒーター等を消す取り組みが徹底されていた為
	是正	全社員に周知徹底をしてもらい、可能な範囲で使用量減少を目指す
水	原因	①節水の取り組みが徹底していた
		②節水の張り紙の早期掲示により、社員の意識が変わった為
	是正	掲示板等を使用し、月ごとに水道使用量を掲示する 全社員に周知徹底をしてもらい、可能な範囲で使用量減少を目指す
化学物質	原因	基準年に集計していた化学物質(切削油)は該当しないため、集計から除外した

②次年度の環境経営目標

2. 中長期の環境目標

項目	単位	基準年度	目標年度			
		2022年度 2022年3月 ～ 2023年2月	2024年度 2024年3月 ～ 2025年2月	2025年度 2025年3月 ～ 2026年2月	2026年度 2026年3月 ～ 2027年2月	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	47,905	-2%	-3%	-4%	
内訳	電力	kWh	78,629	-2%	-3%	-4%
	ガソリン	L	5,273	-2%	-3%	-4%
	都市ガス	m ³	60	-2%	-3%	-4%
廃棄物排出量	産業廃棄物	kg	13,825	-2%	-3%	-4%
	一般廃棄物	kg	600	-2%	-3%	-4%
水使用量	m ³	162	-2%	-3%	-4%	
化学物質使用量	—	53	適切な管理・使用			
環境に配慮した製品づくり	件	3	3	3	3	

<備考>

VII 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間: 2023年3月～2024年2月)

環境活動項目			評価	コメント	次年度の取組
運転管理 等	低冷房運転の励行	低冷房運転の励行	○	エコドライブを意識し、実行している。	継続
		不必要なアイドリングの禁止	○		継続
		急発進・急加速の禁止	○		継続
	空調等	エアコンの設定温度を夏季28℃、冬季20℃に設定	○	使用頻度を減らせた。 毎日チェック。	継続
		クールビズ、ウォームビズの実施	○		継続
		空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回/年)	○		
	工場・事務所	デマンドコントロールの検討	△		機械別の実施予定
		コンプレッサーのエア漏れチェック	○		
		未使用設備の電源OFF(製造設備・OA機器・他)	○		継続
廃棄物の削減	コピー用紙の両面使用	コピー用紙の両面使用	○	社内だけで完結するような資料は裏紙で印刷したり、メモ用紙として現場で使用している。	継続
		封筒などの再利用	○		継続
	廃油(作動油)の削減	廃油(作動油)の削減	△	切削油の汚れを除去し、再利用出来るようにした。	実施検討
		作業油の再利用(潤滑面等へ使用)	○		導入済み
水使用量の削減	水もれ点検の実施	水もれ点検の実施	○	水漏れは使用時に確認。	継続
		張り紙・ポスター等の掲示	△	張り紙による意識向上	継続
環境に配慮した生産活動	不良品の削減(不良率3%以下)	不良品の削減(不良率3%以下)	△	・5S活動は、毎週金曜朝に各部署ごと集まり、作業効率改善や現場環境改善の案を工場長中心で社員同士話し合う場を設け、会社全体で取り込めている。	継続
		5S活動の実施	○		継続
	段取り時間の短縮検討	段取り時間の短縮検討	○	・製造工程見直しは、取組の優先工程を選定中	継続
		製造工程の見直し	△		
環境コミュニケーションの実施	顧客・近所とのコミュニケーションの推進	顧客・近所とのコミュニケーションの推進	○		継続
		社員の交流	○		継続
環境経営の継続的改善	顧客との環境コミュニケーション推進		△	現状把握するため	継続

<備考>

評価判定: ○(良くてきた) △(まあまあできた) ×(できなかった) -(実施が見送られた)

IX 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の最新版の確認
EA21中央事務局HP及び審査人に問い合わせている。

2023年3月から4月
2. 環境関連法規等の遵守状況
当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024年2月26日
評価者 環境管理責任者 片野 純太

法律・条例		条項	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果
遵守	静岡県生活環境の保全等に関する条例	第52条	騒音基準の遵守義務	機械定格で規格以下	○
		第53条	騒音特定施設の届出	空気圧縮機(原動機の定格出力が3.75kw) 7.5Kw.11Kw	済
		第55条	騒音特定施設変更の届出	2倍以内	○
		第79条	振動基準の遵守義務	機械定格で規格以下	○
		第80条	振動特定施設の届出	空気圧縮機(原動機の定格出力が3.75kw) 7.5Kw.11Kw	済
		第82条	振動特定施設の変更等の届出	2倍以内	○
	浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○
		第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第6条の2第6項	市町のルールに従った分別と搬出及び業者委託	業者委託時は許可証確認(契約書作成)	○
		第12条第2項	廃棄物の悪臭・飛散・地下浸透防止	保管場所での環境被害防止	○
		第12条第2項	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	掲示板設置(60cm×60cm以上の大きさ)	○
		第12条第5項	産業廃棄物運搬業者並びに処分業者との委託契約	契約書の締結及び保存	○
		第12条の3第1～6.8項	マニフェストの管理(交付・保管・確認・未返却時の報告)	A～E票:5年間、B2・D票90日以内、E票:180日以内	○
		第12条の3第7項	産業廃棄物管理票交付等状況報告	6月30日までに報告	○
	消防法	第9条の4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	・市町村条例で定める ・指定可燃物:紙屑、プラスチック類等	○
		第11条	指定数量以上の危険物保管の届出	指定数量以上の危険物の保管の消防署への届出	該当なし
	家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電廃棄時のサイクル料金の支払	該当なし
	自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)	第8条	使用済自動車の引渡義務		該当なし
		第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃車時)	
	フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第16条	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施 圧縮機電動機定格出力に応じた資格者による「定期点検」 ②空調機(7.5kW～50kW未満)3年に1回以上	①「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施 ②有資格者による定期点検実施	○
		第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務	該当なし
	RoHS指名/リーチ(REACH)規制		RoHS指名/リーチ適合材料の使用及び適合製品の納入	納入先からの依頼に対して非含有証明書の発行、調査結果の報告	○
準拠	リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	第4条	指定再資源化製品のリサイクル(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	
	地球温暖化対策推進法	第25条	温室効果ガス算定排出量の報告	温室効果ガスの把握	

3. 違反、訴訟等の有無
当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情は過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2024年3月15日

項 目		確認 (必要に応じて評価・コメント記載)
1・見直し関連情報	1 エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	☒ 目標の設定・評価。ガソリン使用量が増えたが、営業活動強化によるもの。
	3 環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取り組みます
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 一覧表に記録した。適用される法規制等は順守されている。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ HP・SNSを通じて外部に発信。順次更新予定。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 状況を判断して是正、予防に努める努力をする。
	8 その他()	☐

2・代表者による全体評価・見直し指示	1年間の運用を通して、社員1人1人の環境に対する考え方が変わり、有意義な活動が出来た。 今後とも社員教育を含めた社内コミュニケーションの充実を図ることが大切である。 実施体制は、環境管理責任者を通し、各自の役割、責任及び権限を全従業員に周知し、エコアクション21の取り組みが、企業経営者のみならず、個々の従業員にとっても有意義なものとなるよう、今後とも継続して行きたい。 社内の5S活動はこの1年で大きく変化があったと実感しているが、不良数の減少や、工程、作業効率向上による売り上げ増加の部分を今後はメインとして考えて貰えたらと考える。 2024年3月7日 有限会社 弥生製作所 代表取締役 片野 浩一		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ ☒ 無	
	2 環境経営目標	☒ 有・無	本年度の活動状況を参考にし、次年度の経営計画変更予定。
	3 環境経営計画	☒ 有・無	未達成の目標については環境経営計画を見直し手段を増やすこと
	4 環境に関する組織(実施体制含め)	有・ ☒ 無	
	5 その他のシステム要素	有・ ☒ 無	
	6 その他(外部への対応)	有・ ☒ 無	